

令和7年度 事業計画書

【スポーツ団体スポーツ活動助成】

助成事業細目	スポーツ活動推進事業（スポーツ指導者の養成・活用）									
助成対象者名	公益財団法人 日本テニス協会									
事業名	日本テニス協会認定テニストレーナー養成事業									
優先順位／申請件数	3	位／	3	件中	（スポーツ団体スポーツ活動助成における順位を記入）					
目的及び期待される効果	事業の特長				左記に該当する場合には、その理由を記入すること					
	○	高齢者のスポーツ活動の支援			ベテラン大会において、安全にスポーツができる環境を提供するための支援					
		障がい者のスポーツ活動の支援								
	○	ジュニアの育成・子供の体力向上			ジュニア大会において、安全にスポーツができる環境を提供するための支援。ジュニア期に必要なセルフコンディショニングの情報を提供し、選手が自立するための支援。各地域でのサポート体制を充実させ、全国でジュニアの育つ環境作りの支援。					
		参加者の健康増進								
	○	女性のスポーツ参加支援（育児サポート等）			女性トレーナーの育成により、女子のサポート体制を充実					
	○	競技水準の向上			各地域でのサポート体制を充実させることにより、強化水準を全国レベルに向上および維持できる。					
	○	地域のスポーツ環境の整備			地域サポート体制を充実させることによる安全管理基準の統一化と徹底ができる。					
事業予算の確保状況	自己財源未確保（助成金の交付がないと事業規模が縮小する場合も含む）									
具体的な事業の内容 （種目・期間・場所・対象者等）	〔実施事業の内容〕									
	開催期間・開催日		2025年11月～2026年2月							
	主催者		公益財団法人 日本テニス協会							
	共催者									
	主催・共催者において、助成事業者以外の財政負担額		なし							
	開催場所		オンラインおよび1会場の対面（未定）							
	事業の内容		指導者を養成する事業							
			各地域の大会やトレーニングセンターにおいて地域のテニス選手を医科学的なサポートができるトレーナーを育成する。							
	指導者の養成と派遣の両事業を実施しているか		指導者の養成と派遣の両事業を実施していない							
			※ 両事業を実施する場合でも、指導者の養成と派遣を一つの事業として申請することはできません。 2事業に分けて申請してください。							
	養成講習会の予定実施回数		2	3	回	※左の欄に数値を入力すると、右の欄は自動で割合が計算される。				
	スポーツ指導者等の養成講習会の平均参加人数			20	人	スポーツ指導者等の養成講習会の総参加人数	60		人	
	（うち、女性の平均参加人数）			5	人	女性参加割合	25.00		%	
	（うち地域住民（貴団体の所在する都道府県内に住む方）の参加予定人数）			5	人	地域住民参加割合	25.00		%	
	養成講習会に参加することで取得できる資格はあるか		はい			養成講習会に参加することで取得できる資格	JTA認定テニストレーナー			
系統的な指導者養成システムが構築されているか		構築されている				指導者養成システムの概要	BLS有資格者、JSPO公認アスレティックトレーナー、国家医療従事者資格保有者向けの講習で、テニスに特化したサポート活動について講習する。基礎教育はeラーニングを導入。			
第三者への委任の有無	助成対象者が自ら事業経費を執行せず、実行委員会等第三者への委託金等を支出し、事業を実施するか。※業者に請負わせるものは、委任には該当しません。							いいえ		
	＜委任先の組織について＞ ※「はい」の場合には以下を記入すること									
	実行委員会等委任先の組織名称									
	実行委員会等委任先への支出形態		リストから選択してください。				その他の場合は()に記載してください。()			
	※委任先への支出が、助成対象者の経理科目上、委託金に限らず負担金、交付金、補助金等であったとしても、経費内訳表(収支予算書)への計上は「委託費」科目としてください(会計処理の手引44ページ「⑦委託費(事務委任)」に記載されている手順で実施する必要があります)。※委任先の収支予算書を提出してください。									

令和7年度 事業計画書

【スポーツ団体スポーツ活動助成】

助成事業細目		スポーツ活動推進事業（スポーツ指導者の養成・活用）			
助成対象者名		公益財団法人 日本テニス協会			
事業名		日本テニス協会認定テニストレーナー養成事業			
施設の使用		助成対象者が所有または指定管理を受託する施設の使用はあるか。 ※「はい」の場合には以下を記入すること。		いいえ	
		自己所有する場合の施設名			
		指定管理を受託する場合の施設名			
		指定管理を受託する施設の使用料			
		※助成対象者が指定管理を受託する施設の使用料を対象経費とする場合、施設使用料の扱いについて確認が取れる自治体との協定書を提出してください。 （なお、指定管理を受託予定の場合、実績報告（実施状況報告）時に、協定書を必ず提出してください。）			
情報公開	事業の実施計画の公表	事業を広報・PRするための手段 （複数選択可）	<input type="radio"/>	HPで参加者・派遣先団体募集を告知する	
				広報誌・会報誌等で参加者・派遣先団体募集を告知する	
				参加者・派遣先団体募集のチラシを配布する	
			<input type="radio"/>	特定の参加者・団体へ声をかけ、参加を呼びかける	
	事業の実施状況及び実施結果並びに助成金の使途に関する情報の公開方法 ※交付要綱第23条において、『助成事業者は、助成事業の実施状況及び実施結果並びに助成金の使途に関する情報を公開するものとする。』と規定されていますので、必ず対応するようにして下さい。	情報の公開方法 （複数選択可）	<input type="radio"/>	HPで公開する	
				広報誌・会報誌等で公開する	
				事務所等に備え、自由に閲覧できる環境を整備する	
				情報開示請求があった場合に開示する	
	公表する内容 （複数選択可）	<input type="radio"/>	事業の実施状況（助成金の交付を受けている旨を記載し、事業の進捗、途中経過を公開する）		
		<input type="radio"/>	事業の実施結果（助成金の交付を受けた旨を記載し、事業の完了報告を公開する）		
			助成金の使途に関する情報（助成金額（交付決定額）及び何に使用したのかを公開する）		
	事業実施後に、参加者等に対する満足度調査を行うか		行わない		実施方法
備考					